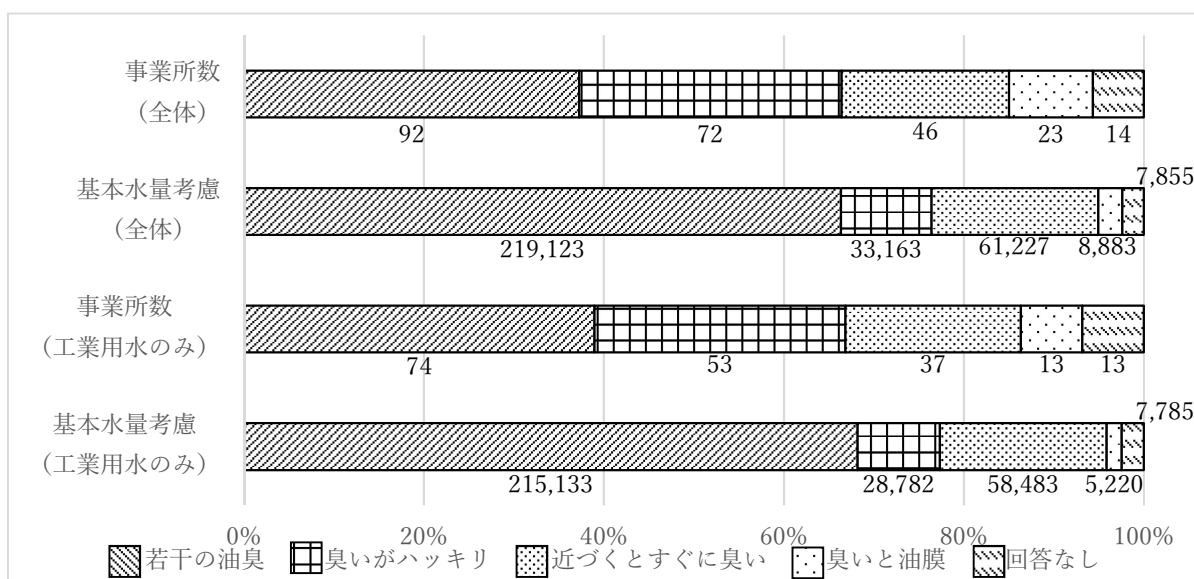


令和 2 年 9 月

工業用水道のサービスに関する意見調査結果について

Q 1. 平成 30 年度に実施した『工業用水道水使用実態調査』では、回答のあった受水事業所のうち、約 7 割が工業用水に油事故が発生した場合に「影響がある」を選択されていました。この油事故のうち、油臭に対する影響について、お伺いします。油臭がどの程度であると、「影響がある」と判断されますか。

1. 臭気官能法により、若干、臭いがわかる場合（見た目にはわからない）
2. 臭気官能法により、臭いがはっきりと分かる場合（見た目にはわからない）
3. 近づくと、すぐに臭いが分かる場合（見た目にはわからない）
4. 臭いとともに、油膜なども目に見えて分かる場合



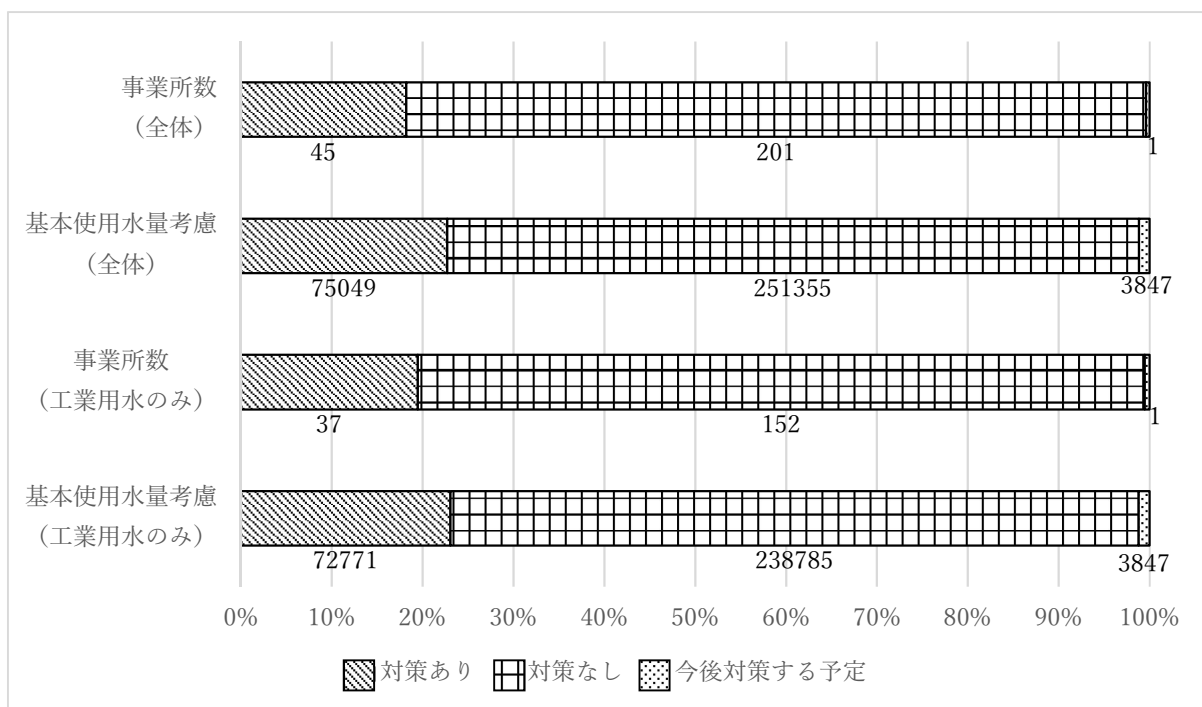
※「工業用水のみ」とは「全体」から雑用水使用の事業所数を引いたもの

		事業所数	基本使用水量考慮
Q1 全体	若干の油臭	92	219,123
	臭いがハッキリ	72	33,163
	近づくとすぐに臭い	46	61,227
	臭いと油膜	23	8,883
	回答なし	14	7,855
	計	247	330,251

		事業所数	基本使用水量考慮
Q1 工業用水のみ	若干の油臭	74	215,133
	臭いがハッキリ	53	28,782
	近づくとすぐに臭い	37	58,483
	臭いと油膜	13	5,220
	回答なし	13	7,785
	計	190	315,403

Q2. 貴事業所の施設における油事故対策（粉末活性炭設備や上水道からの切替対応など）の実施状況についてお伺いします。

1. 対策している。
2. 対策していない。
3. 現在はしていないが、今後、対策をする予定である。

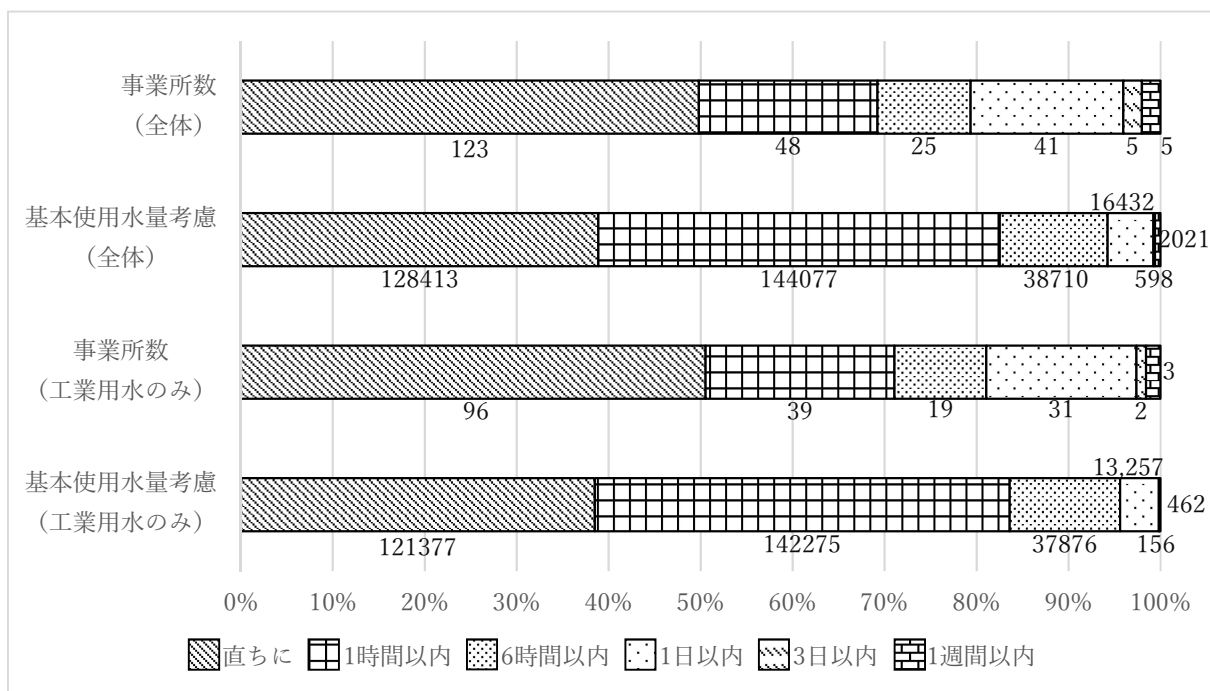


		事業所数	基本使用水量考慮
Q2 全体	対策あり	45	75,049
	対策なし	201	251,355
	今後対策する予定	1	3,847
	計	247	330,251

		事業所数	基本使用水量考慮
Q2 工業のみ	対策あり	37	72,771
	対策なし	152	238,785
	今後対策する予定	1	3,847
	計	190	315,403

Q3. 影響が出る油事故が発生した場合、受水後どれくらいの期間から影響が生じますか。

1. 直ちに、影響が生じる。
2. 1時間以内に復帰するのであれば、影響は生じない。
3. 6時間以内に復帰するのであれば、影響は生じない。
4. 1日以内に復帰するのであれば、影響は生じない。
5. 3日以内に復帰するのであれば、影響は生じない。
6. 1週間以内に復帰するのであれば、影響は生じない。



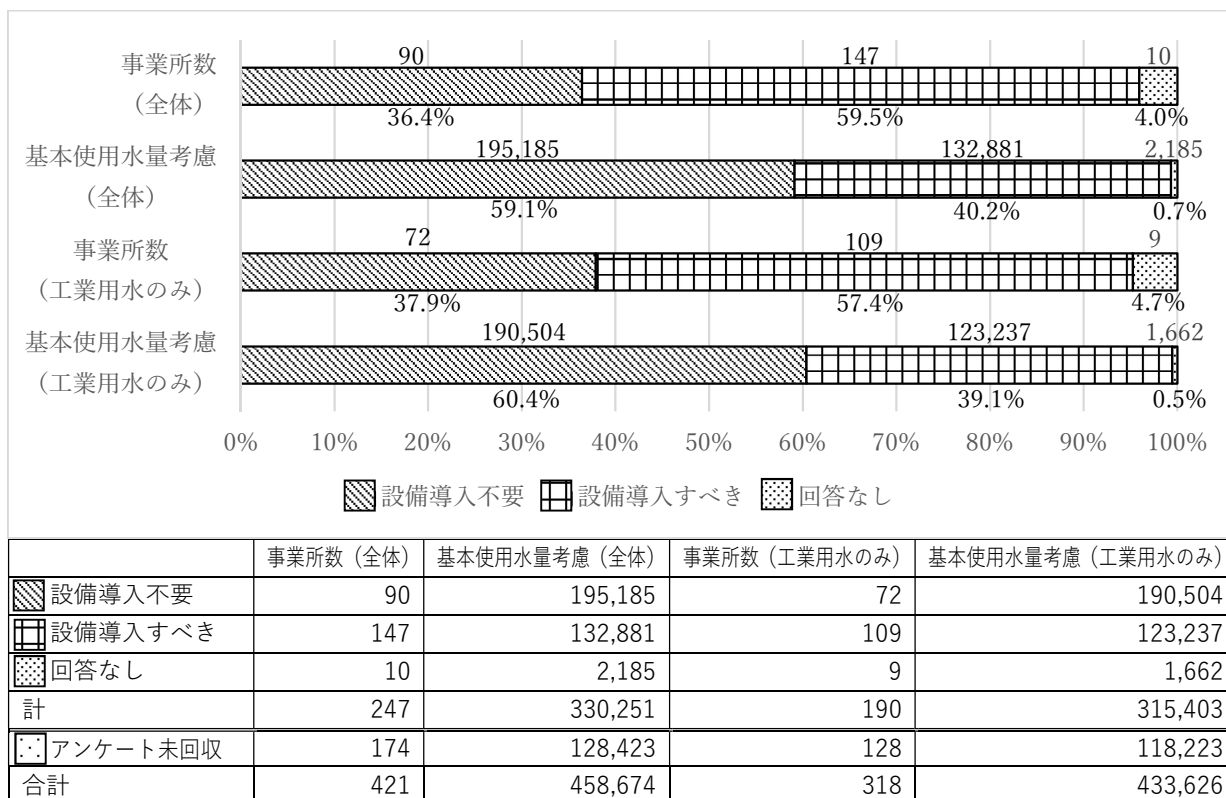
		事業所数	基本使用水量考慮
Q3	直ちに	123	128,413
全体	1時間以内	48	144,077
	6時間以内	25	38,710
	1日以内	41	16,432
	3日以内	5	598
	1週間以内	5	2,021
	計	247	330,251

		事業所数	基本使用水量考慮
Q3	直ちに	96	121,377
工水のみ	1時間以内	39	142,275
	6時間以内	19	37,876
	1日以内	31	13,257
	3日以内	2	156
	1週間以内	3	462
	計	190	315,403

Q4. 大阪広域水道企業団の工業用水道事業において、油事故に対応する油処理設備はなく、今後の導入計画も現時点ではありません。同設備の導入には、今後、約0.3(円/m³)の料金値上げが必要になると試算しています。

そこで、油処理設備を導入する場合には、料金値上げが必要となることや過去の油事故発生件数とその対応なども踏まえ、設備の導入の是非について、回答をお願いします。

1. 料金の値上げが必要となるならば、設備導入は容認できない。
2. 料金の値上げが必要であっても油処理設備を導入すべき。



・アンケート回収率は58.7%（基本使用水量考慮の場合：72.0%）

（参考）

